

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	全ゲノム／エキソン解析による肺癌発症等に関連する遺伝子多型の研究
	研究対象者	2010 年 1 月から 2020 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで肺がんと診断され治療を受けた方
	研究目的	この研究では、肺癌と診断された患者さんの血液で、全ゲノム／エキソン解析といったゲノム解析を実施して、その結果をもとに、肺癌発症の仕組み自体や、治療薬に対する効果、副反応に関係する遺伝的な素因（遺伝子多型）を探索して、肺癌発症の予防や肺癌治療の個別化の実現を目的とします。このような研究は数千人規模の患者さんと健常対象者を比較する統計学的解析が必要となるため複数の研究施設が共同して研究を進めます。
	研究方法	対象となる患者さんの末梢血から抽出した DNA 約 2μg を使って、共同研究施設で全ゲノム／エキソン解析を行います。得られた情報を、バイオバンクジャパンが既に収集している日本人約 10,000 人分の健常者データベース等と様々な統計学的手法を用いて比較解析して、肺癌発症にかかわる遺伝的素因の探索を進めます。また、肺癌患者さん間での比較を中心に、治療薬に対する効果や副反応に関係する遺伝的素因も探索します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。DNA 検体についても同様に識別コードで取り扱います。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 1 6 年 9 月 1 5 日 ～ 西 暦 2 0 3 1 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[×]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[×]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:_____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[×]情報:	[×]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[×]年齢、[] 生年月日、[×]性別、[]既往歴、 []併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[×]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[×]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[×] ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 臨床研究所・宮城洋平
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名 東京大学医科学研究所附属病院抗体ワクチンセンター・醍醐弥太郎 滋賀医科大学医学部臨床腫瘍学講座・醍醐弥太郎 理化学研究所生命医科学研究センター・桃沢幸秀
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・臨床研究所・宮城洋平 TEL：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 7 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	